

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	楽器レッスン3	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	授業内でプリント、譜面等を配布						
担当教員情報							
担当教員	杉山泰			実務経験の有無・職種	有 音楽講師、鍵盤講師、参考書出版		
学習目的							
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識について学び、特に曲作りにおいて重要な役割を担うものです。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。							
到達目標							
この科目では、学生が鍵盤楽器の奏法を学ぶ事と、曲づくり、アレンジにおいて必要なことを鍵盤を使って学び実践して行く事を目標とします。基礎的なトレーニングから始め、音楽理論も加味したうえでキーボードの技術習得とともに作曲・編曲においても必要な知識を得ることを目標とします。サウンド面での分析も行い、ジャンル別による音色、奏法等細部にわたり作曲に反映できるように理解していきます。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏技術、作曲、アレンジ技術を身につける。 ハーモニー、リズムにおいてもパターンを習得し、あらゆる音楽に対応するキーボード技術を習得します。 DAWにおける制作にもキーボードを使った入力を行うため、そのためのスキルを上げていくための知識・技術を習得していきます。						
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	実践形式での授業内で理解度を把握するので、実施しない。				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するためにたまに実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	鍵盤の押さえ方の基本			鍵盤の押さえ方の基本を学び、脱力法を習得する			
2回	四分打ちの基本			伴奏の基本である、四分打ちを学ぶ			
3回	四分打ちの応用			四分打ちの応用パターンの作り方を学ぶ			
4回	アルペジオの基本			アルペジオ奏法の基本を学ぶ			
5回	アルペジオと伴奏への応用			アルペジオ奏法を実践的なアプローチをどう生かすかの応用			
6回	八分打ちとロックでの奏法			スクエアな楽曲、主にロックなテイストの曲での伴奏法			
7回	16ビートのノリと伴奏法1			16ビートのノリでの伴奏とグルーヴの基本			
8回	回ハネたビートでのアプローチ			ハネたビートでの伴奏法とノリの基本を学ぶ			
9回	スクエアとバウンス			ハネてない伴奏とハネてる伴奏の違いを学ぶ			
10回	さまざまなジャンル別の奏法			ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ			
11回	さまざまなジャンル別の奏法			ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ			
12回	コードとメロディーの仕組み			コードとメロディーの関係性と、双方について			
13回	コードとメロディーの仕組み			コードとメロディーの関係性と、双方について			
14回	奏法のおさらい			実演の総復習			
15回	まとめ			総復習			